

第383回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 2021年11月29日(月)
2 開催場所 テレビ新潟本社
3 委員総数 8人 出席委員 8人

出席委員

若杉 隆平	委員長	田村 明子	副委員長
徳山隆太郎	委員	富田 智晃	委員
大久保千春	委員	柳川かおり	委員
本宮 宏美	委員	迫 一成	委員

会社側出席者

代表取締役社長	小山 章司
取締役コンテンツ本部長	寺内 邦彦
コンテンツ戦略局長兼番組審議会事務局長	羽田 朗
報道制作局長	竹野 和治
制作部長	須山 司
合評番組プロデューサー	伊藤 正鋭
事務局	道場拓哉 吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「嗚呼！NGT48らーめん部SP！

～自撮りで魅力を伝えます！新潟 vs 信州麺バトル～」

(2021年11月3日(水) 15:50～16:50 放送)

2) 会社報告

①10月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②放送番組の種別報告 (報告：番組審議会事務局)

③講じた措置、議事概要の公表 (報告：番組審議会事務局)

④訂正放送、取り消し放送の有無 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、「番組制作の現場でも、ワークスタイルの変革が望まれ、制約があるなかでも継続的にコンテンツを生み出すため、さらに『作業時間の短縮・制作費削減＝番組クオリティの低下』にしていけないという考えから、『自撮りで限られた時間しかカメラを回すことができない』という逆転の発想で企画したのが『嗚呼！NGT48らーめん部』という深夜のレギュラー番組。全国にファンを持ち、発信力のあるNGT48を起用することで、新潟県のラーメンの魅力を幅広く発信する意図も含まれている。今回は番組開始から10か月、さらなる認知度とファン層の拡大のため、1時間番組のフォーマットに挑戦した。レギュラー版からの変更点は、自撮りの時間を7分から10分に拡大したということと、多くのNGT48メンバーも認知してもらうためにライバルという図式で信州そばを紹介する「そば部」を結成したこと。MCには、以前テレビ新潟のレ

ギュラー番組として放送していた『NGT48のにいがったフレンド』で共演していたロッチを起用。今回はSNSも積極的に活用し番組を事前告知し、また全国の人が見られるようにTVerでも放送終了10分後からの配信を行った。その結果、放送日Twitterでは新潟のトレンド1位に『嗚呼NGT48らーめん部』が入った。個人視聴率ではM1・F1で全局トップとなった。」という趣旨の説明があった。

(委員の意見)

- 自撮りで撮影時間に制限があるという仕組みはおもしろかった。
- 自分たちで撮影する映像があまりよくないので、タイトルや画面を装飾するなど編集でのフォローがあってもよかった。
- YouTubeを見ているような感覚になった。普段、何気なく見ているテレビ番組はプロが作っているということを実感した。
- 深夜のレギュラー番組を見ていないと理解できないのではないかと感じた。何も知らずに見ると番組の意図が伝わりにくかった。
- 今の子供たちはテレビよりYouTubeばかり見ている。人気のユーチューバーは映像やテロップなどでわかりやすく作りこんでいるが、この番組は子供から見てもわかりにくかった。
- ブツブツと映像が途切れるところはおもしろく感じた。ここをおもしろく感じられるかどうか。
- 食リポが短いため、これはグルメ番組ではないということがわかったが、短くて正解だった。
- 改めて芸人のすごさを感じた。昔からアイドルと芸人の相性がい。拾って突っ込んであげる人がいるとアイドルが光る。
- 食リポの部分は聞いていられないが、ひとりひとりが見えてくるとかわいさがよくわかってきておもしろかった。

- 出演者の若さとエネルギーとテンションの高さに圧倒された。
- ラーメンやそばの紹介が少なかったのは残念だった。
- NGT48は新潟の魅力のひとつであることは間違いない。楽しめる番組なので、他のアイドルグループとの対戦など、もっと全国に知られるような仕掛けがあればいいと感じた。
- せっかくロッチが出ているのであれば一緒にお店を回ってもよかった。
- そば部との対決に違和感があった。新潟の食で対決するのもよかったのではないか。
- 構成から撮影まで全部メンバーがやっているということで、ファンにとっては楽しすぎる番組だったが、なぜ学生服を着ているのか、なぜロッチが出てきて大喜びをしたり泣いたりしているのか、知らないことが多すぎて置いていかれた感じがした。
- スタジオで後ろにいるメンバー全員が映るような構図や、ワイプで多くのメンバーが出てくる構成がよかった。
- 自撮りでの番組は新しくチャレンジングな方法として感心した。半面、自撮りは自分たちで楽しむというものだが、ファンではない視聴者と番組との距離感を埋められなかったように感じた。
- 1時間は長かったのではないか。この内容で長い時間、視聴者を惹きつけられるかどうかはやや疑問に感じた。
- 新しいチャレンジで、NGT48が元気を取り戻して屈託のない笑顔で活動しているところを知ることができて嬉しかった。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

10月……144件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会の開催日(2021年10月25日)から、昨日(2021年11月28日)まで総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

- 1) 前回第382回審議会では、「新潟の挑戦者たち Tokyo 2020 それぞれのストーリー」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
- 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第383回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第382回番組審議会議事録
- ・2021年4月～9月番組種別放送時間
- ・2021年10月期基本番組種別表
- ・2021年10月期基本番組種別タイムテーブル
- ・10月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告(No.231、No.232)
- ・民間放送新聞(2190号、2191号)

以上